

エコアクション21
環境経営レポート
令和7年度
(令和6年12月1日～令和7年11月30日)



認証番号 0005223

発行日: 令和8年3月1日

YACHIYO 株式会社 八千代組

目 次

項 目	ページ
ご挨拶	2
環境経営方針	2
事業所の概要	3
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～11
次年度環境経営目標	12
次年度環境経営計画	13
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	14
代表者による全体の評価と見直し・指示	15
これまでの環境活動の紹介	15



■ご挨拶

私たち株式会社八千代組は、土木・建築工事を中心として『質実剛健』をモットーに自然豊かな徳島県南の土地に昭和8年の創業以来さまざまな地域社会に貢献できる企業を目指してまいりました。

総合建設業として事業拡大に伴う責任ある企業になる為に、地域に、お客様に、そして地球の豊かさを未来に引き継ぐ企業となるよう、二酸化炭素の削減、廃棄物の削減、社会貢献活動等に社員一丸となって邁進する所存でございます。

■環境経営方針

<環境経営理念>

これからも総合建設業として業務を通じて社員一同、地球温暖化問題や地域の環境活動に自主的・積極的に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1 地域と共に発展していく為に事業活動を認識し地球環境の保全と改善に向けて自主的・積極的・継続的に取り組み、総合建設業としての責任と役割を果たしていきます。
- 2 事業活動に係る環境関連の法令、徳島県条例、その他を遵守します。
- 3 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 4 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
- 5 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 6 環境に配慮した工事に努めます。
- 7 経済・社会・政策等の状況を踏まえ、環境経営の継続的改善を推進します。
- 8 地域の夏祭りや清掃活動等の地域貢献活動や環境活動に積極的に参加します。



制定日 平成30年12月1日

株式会社八千代組

代表取締役 森本 則明

■事業所の概要

事業所名	株式会社八千代組	
代表者	代表取締役	森本 則明
事業所	本社	〒774-0030 阿南市富岡町内町211番地
	松茂営業所	〒771-0212 板野郡松茂町中喜来字前原東七番越2番地2
	倉庫・資材置場	〒774-0009 阿南市西路見町堤外7-1
	倉庫2	〒774-0030 阿南市富岡町トノ町104-1
	倉庫3	〒774-0030 阿南市東仲町282-1
環境管理責任者	専務取締役	小牧 恵子
担当者及び連絡先	総務部	天野 加奈 TEL : 0884-22-0367 FAX:0884-22-3021
事業内容	徳島県知事許可（特-05）第1112号 土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、石工事業、 屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、 舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、 水道施設工事業、解体工事業	
	徳島県知事許可（般-05）第1112号 左官工事業、鉄筋工事業、防水工事業、建具工事業	
設立年月日	昭和8年8月1日	
事業規模	資本金 3,000万円 売上高 約 35 億円/年 (R6.12~R7.11) 従業員数 26 名 延床面積 本社 326.00m ² 倉庫 562.00m ² 資材置場 535.00m ²	
認証・登録範囲	全組織・全活動	

■事業の紹介

土木工事



建築工事



地域貢献活動



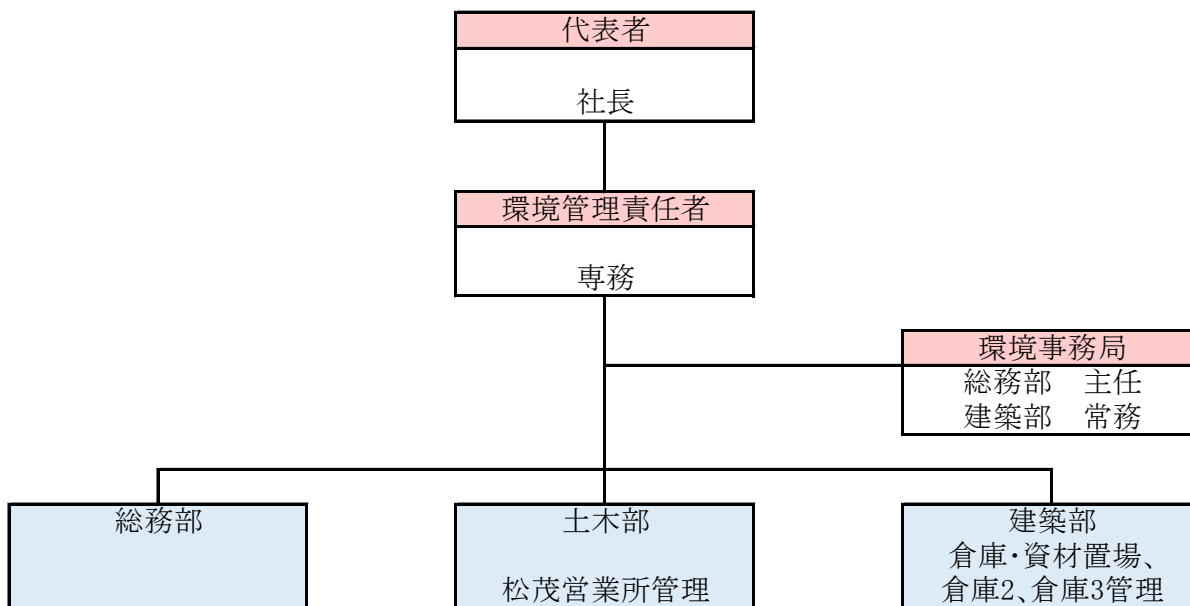
2025年の様子

義援金活動として八千代組社員一同で災害復興義援金を集め、阿南市内の量販店内の義援金コーナーへ持参しました。



本社がある阿南市富岡町近くの桑野川沿いの高架下道路では大雨が降るとゴミなどが原因で灌水することもよくあるので日頃から社員一同で清掃活動を実施しています。

■環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標の設定を承認 環境経営レポートを承認 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実施し、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境経営計画書を承認 環境経営レポートを確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境経営計画の実績集計 環境経営レポートを作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

■環境経営目標及び実績

環境目標項目	環境目標値							
		2022年	2023年	評価	2024年	評価	2025年	評価
		基準年	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		基準値	基準年の-1%		基準年の-2%		基準年の-3%	
二酸化炭素の排出量 (kg-CO2)	目標値		143,856	○	142,403	×	140,950	×
	実績	145,309	143,219		168,017		153,948	
	達成率		100.4%		84.8%		91.6%	
電力使用量 (kWh)	目標値		86,827	○	85,950	×	85,073	×
	実績	87,704	58,259		133,254		104,385	
	達成率		149.0%		64.5%		81.5%	
化石燃料使用量 (ℓ)	目標値		39,129	×	38,734	○	38,339	×
	実績	39,524	45,573		37,931		39,308	
	達成率		85.9%		102.1%		97.5%	
一般廃棄物の削減 (kg)	目標値		229	×	227	×	225	×
	実績	232	241		246		508	
	達成率		95.0%		92.3%		44.3%	
産業廃棄物の削減 (kg)	目標値		756,122	×	748,485	×	740,847	×
	実績	763,760	1,075,782		3,094,888		2,363,592	
	達成率		70.3%		24.2%		31.3%	
廃棄物リサイクル率 (%) (再資源化量÷総排出量)×100	目標値		95.0	×	96.0	○	97.0	×
	実績	94	91.3		97.4		92.8	
	達成率		96.1%		101.5%		95.7%	
水道水の削減 (m3)	目標値		933	○	923	×	914	×
	実績	942	540		8,599		1,368	
	達成率		172.8%		10.7%		66.8%	
環境目標項目	環境目標値							
		2022年	2023年	評価	2024年	評価	2025年	評価
		基準年	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		基準値	基準年の+2棟		基準年の+2棟		基準年の+2棟	
省エネ建物の推進 (棟)	目標値		5	×	5	×	5	×
	実績	3	2		3		1	
	達成率		40.0%		60.0%		20.0%	

○排出係数は基準年度、0.574 (kg-CO2/kWh) を使用

四国電力(株)：2022年1月13日公表(2020年度実績)

【評価基準】 ○：100% ×：100%未満

○LPGは微量のため、削減目標は設定しない。

■コメント

全体	人材不足や労務費・化石燃料の高騰に伴い、入札案件の見直し等により公共事業、民間事業、住宅事業共に減少傾向にあった。
二酸化炭素の排出量	前年に比べ大型施設の改修工事や新築工事等の減少により、二酸化炭素の排出量が未達成ではあるが、91.6%と改善傾向となった。
電力使用量	記録的な猛暑により熱中症対策として、現場事務所及び作業員休憩所でのエアコンのフル稼働や、冷蔵庫の増設、工事に伴う送風機のフル稼働が電気使用量の増加、達成率81.5%の要因である。
化石燃料使用量	遠方の現場数の減少により、移動距離や工事内容に伴う重機等(発電機・バックホー)の使用が前年より増加した為、97.5%の未達成となった。

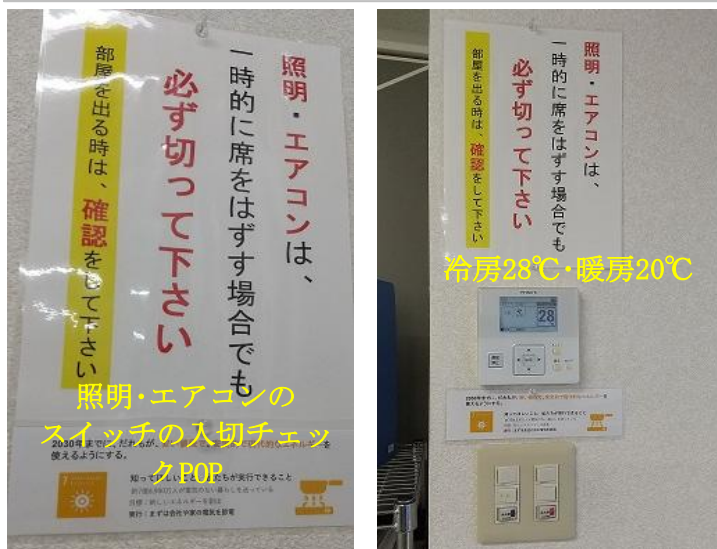
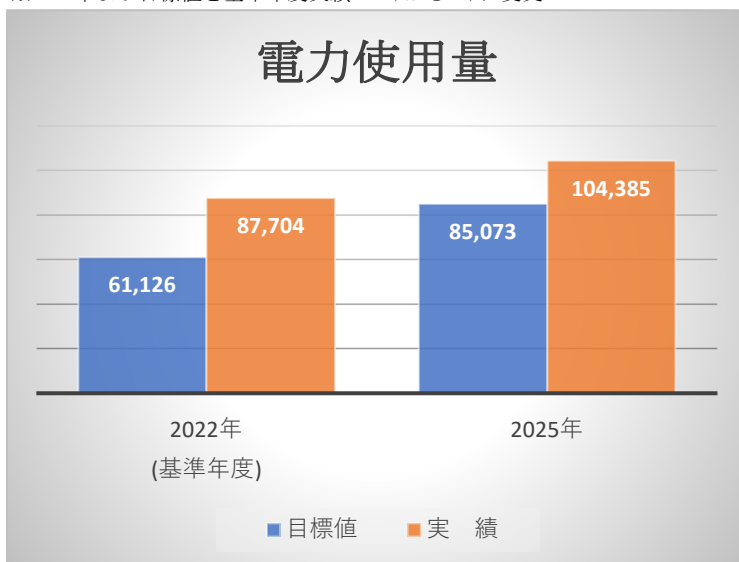
■環境経営計画の取組結果とその評価

活動：○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・空調温度の適正化		昨今の記録的猛暑の中での現場作業に対応した熱中症対策の強化からエアコンフル稼働であったり、飲料用の自動販売機設置並びに冷蔵庫の増設であったりと電気使用量が増加した。今後は、パソコンやコピー機を使わないときはスリープモードや電源オフを徹底し、休憩時間の消灯や間引き点灯などで待機電力を減らす。
事務所（冷房28℃・暖房20℃）	×	
現場（冷房28℃・暖房20℃）	×	
・エアコンの清掃を6か月毎に実施	○	
・不要照明の消灯（退出時、休憩時間）	○	

電力		2022年 (基準年度)	2025年
電力使用量 (kWh)	目標値	61,126	85,073
	実績	87,704	104,385
	達成率	69.7%	81.5%
二酸化炭素排出係数	kg-CO2/kWh	0.574	0.574

※2020年より目標値を基準年度実績の-5%から-1%に変更



2030年までに、だれもが、安い値段で、安定的で現代的なエネルギーを使えるようにする。

知ってほしいこと、私たちが実行できること

約7億8,900万人が電気のない暮らしを送っている

目標：新しいエネルギーを創出

実行：まずは会社や家の電気を節電

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



空調温度の適正化、不要照明の消灯の取組状況

■環境経営計画の取組結果とその評価

活動：○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

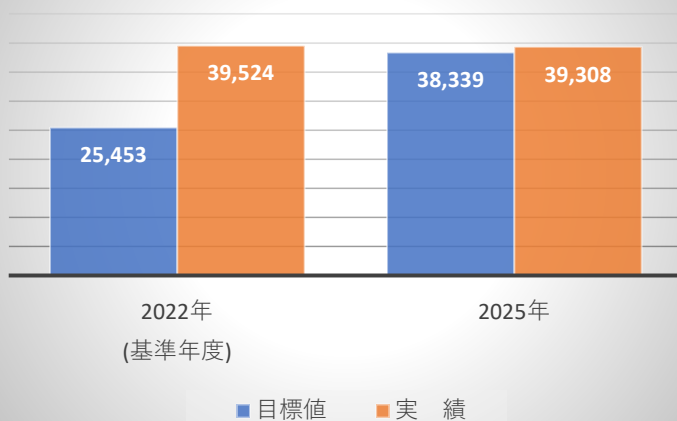
燃料の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・自動車		工事内容に伴う発電機や重機の燃料使用量が増加が未達成の要因である。 今後の課題は、電動機械の積極的な使用や省エネ性能の高い設備機器への転換も検討。
アイドリングストップ	○	
効率的なルートでの運転	○	
赤信号手前、下り坂でのアクセル踏み込み禁止	○	
給油毎にタイヤ空気圧の点検	○	
・灯油、ガスによる温水温度の適正化	○	

化石燃料		2022年 (基準年度)	2025年
化石燃料使用量 (ℓ)	目標値	25,453	38,339
	実績	39,524	39,308
	達成率	64.4%	97.5%

※2020年より目標値を基準年度実績の-5%から-1%に変更



化石燃料使用量



低公害車、低燃費車、ETC搭載車等の購入による燃料削減の取組状況

気候変動への対応を、それぞれの国が、国の政策や、戦略、計画に入れる。

知ってほしいこと、私たちが実行できること
地球温暖化によってさまざまな自然災害が起きている

目標：CO2排出量を減らす取り組み

実行：環境を守るための小さな行動として
CO2排出量の少ない移動手段を選び
エコドライブを
実施する

13 気候変動に
具体的な対策を



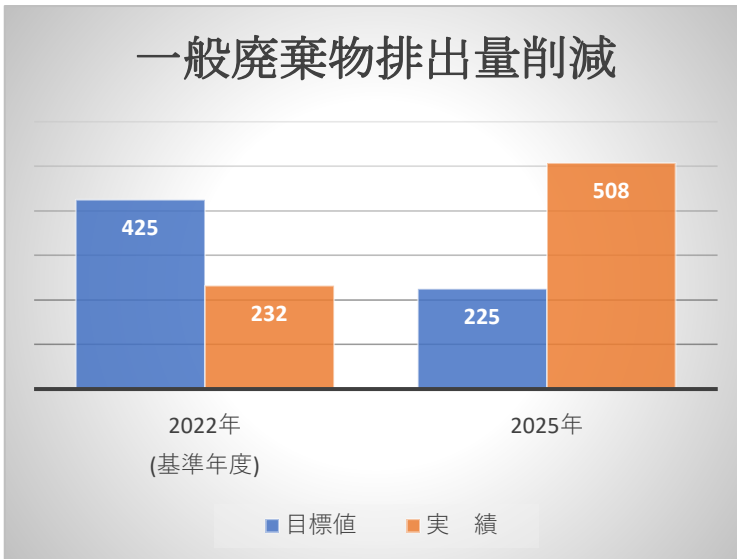
■環境経営計画の取組結果とその評価

活動：○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・分別の徹底	○	現場では、分別徹底と各自昼食等ゴミの持ち帰り、自動販売機の設置による缶・ビン・ペットボトルのリサイクル。本社事務所では、リサイクルセンター及びリサイクル業者への持ち込みを続けている。目標達成率に及ばなかったが引き続きリサイクル化と排出量の削減努力を続ける。
・廃紙のリサイクル化	○	
・梱包材の再利用	○	
・裏紙の再利用	○	
・電子メディアの活用による印刷物の削減	△	

一般廃棄物		2022年 (基準年度)	2025年
一般廃棄物排出量 (kg)	目標値	425	225
	実績	232	508
	達成率	183.5%	44.3%

※2020年より目標値を基準年度実績の-5%から-1%に変更



ゴミの分別の徹底、裏紙・封筒・ダンボール等の再利用。缶・瓶・ペットボトル・プラスチックの資源ゴミのまちのリサイクルステーション活用による一般廃棄物削減の取組状況

2030年までに、大気の水質やごみの処理などに特に注意を払うなどして、都市に住む人(一人当たり)が環境に与える影響を減らす。

知ってほしいこと、私たちが実行できること

2023年、災害によって家を失った人は2,640万人。多くの方が避難や移住を余儀なくされた
 目標：土砂災害や河川の氾濫の危険性がある場所を把握し、ゴミを減らす取り組み

実行：アドプト活動やリサイクルによるゴミを増やさない努力の実施

11 住み続けられるまちづくりを

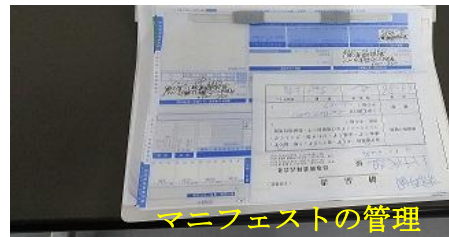
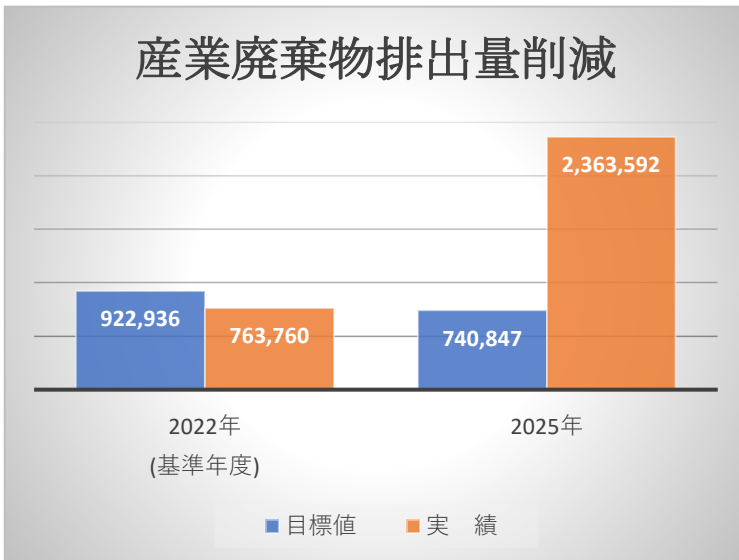
■環境経営計画の取組結果とその評価

活動：○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	増加要因として解体工事に伴うその他がれき類、混合廃棄物の増加による。 金属くず、紙くずの可能な限りの分別により、再生資源として産業廃棄物では無い有価物リサイクルの徹底で排出量の削減に引き続き努力する。
・素材別ボックスの設置	△	
・リサイクル業者の開拓	△	
・分別の徹底	△	
・再資源化先の開拓	△	

産業廃棄物	2022年 (基準年度)		2025年
	産業廃棄物排出量 (kg)	目標値	922,936
	実績	763,760	2,363,592
	達成率	120.8%	31.3%

※2020年より目標値を基準年度実績の-5%から-1%に変更



マニフェストの配布及び管理の徹底と現場の分別用コンテナの設置による取組状況

2030年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。

知ってほしいこと、私たちが実行できること

世界では毎年、約1.3億トンもの食料が捨てられている

目標：資源を有効に使う新たなサービスの形

実行：ゴミの分別や商品の「外側」

にも目を向けよう

12 つくる責任
つかう責任



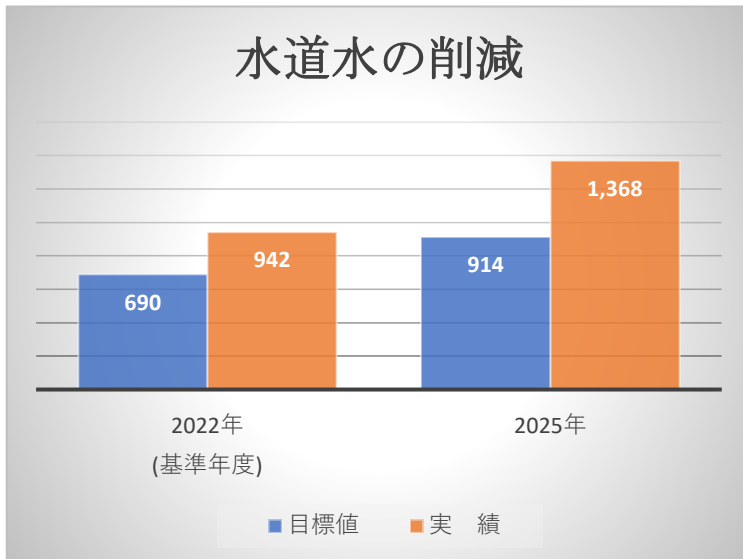
■環境経営計画の取組結果とその評価

活動：○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・食器等のため洗い	○	総排水量が前年より減少したものの現場では、解体工事、杭・地盤改良工事を伴い総排水量は目標達成には及ばなかった。対策としてこまめな節水活動、現場手洗を受水槽設置からの使用、節水型の仮設トイレ設置等の節水の工夫を考え、節水活動の推進を図る。
・掃除のとき湯水や洗剤を使いすぎない	○	
・捨て水を有効活用する	○	
・節水シールの貼付けとポスター掲示	○	
・ストッパー付きホースリールの使用	○	

水道水		2022年 (基準年度)	2025年
総排水量 (m3)	目標値	690	914
	実績	942	1,368
	達成率	73.2%	66.8%

※2020年より目標値を基準年度実績の-5%から-1%に変更



節水シール貼付による水道水削減の取組状況

2030年までに、だれもが安全な水を、安い値段で利用できるようにする。

知ってほしいこと、私たちが実行できること
世界人口の3分の1が安全な水を使えない
目標：安全な水とトイレをみんなが使えるようにする

実行：食器洗いや掃除で流す水をなるべくきれいにする



■次年度環境経営目標

環境目標項目	環境目標値							
		2025年	2026年	評価	2027年	評価	2028年	評価
		基準年	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		基準値	基準年の-1%	基準年の-2%	基準年の-3%			
二酸化炭素の排出量 (kg-CO2)	目標値		140,318		138,901		137,483	
	実績	141,735						
	達成率							
電力使用量 (kWh)	目標値		103,341		102,297		101,253	
	実績	104,385						
	達成率							
化石燃料使用量 (ℓ)	目標値		38,993		38,599		38,205	
	実績	39,387						
	達成率							
一般廃棄物の削減 (kg)	目標値		503		498		493	
	実績	508						
	達成率							
産業廃棄物の削減 (kg)	目標値		2,339,956		2,316,320		2,292,684	
	実績	2,363,592						
	達成率							
廃棄物リサイクル率 (%) (再資源化量÷総排出量)×100	目標値		94.0		95.0		96.0	
	実績	93						
	達成率							
水道水の削減 (m3)	目標値		1,354		1,341		1,327	
	実績	1,368						
	達成率							
環境目標項目	環境目標値							
		2025年	2026年	評価	2027年	評価	2028年	評価
		基準年	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		基準値	基準年の+2棟	基準年の+2棟	基準年の+2棟			
省エネ建物の推進 (棟)	目標値		3		3		3	
	実績	1						
	達成率							

○排出係数は基準年度、0.457 (kg-CO2/kWh) を使用
 四国電力(株)：2026年1月23日公表(2024年度実績)

【評価基準】 ○：100% ×：100%未満

○LPGは微量のため、削減目標は設定しない。

■次年度環境経営計画

電力による二酸化炭素削減	担当部署	スケジュール	チェック	スケジュール	最終確認
・空調温度の適正化	総務部 土木部 建築部	12月～2月 ・ 3月～5月 ・ 6月～8月 ・ 9月～11月	環境事務局 総務部主任 ・ 建築部常務	3月 ・ 6月 ・ 9月 ・ 1月	環境管理責任者 専務 ↓ 代表者 社長
事務所（冷房28℃・暖房20℃）					
現場（冷房28℃・暖房20℃）					
・エアコンの清掃を6か月毎に実施					
・不要照明の消灯 （退出時、休憩時間）					
燃料の削減					
・自動車					
アイドリングストップ					
効率的なルートでの運転					
赤信号手前、下り坂でのアクセル踏み込み禁止					
給油毎にタイヤ空気圧の点検					
・灯油、ガスによる温水温度の適正化					
一般廃棄物の削減					
・分別の徹底					
・シュレッダー廃紙のリサイクル化					
・梱包材の再利用					
・裏紙の再利用					
・電子メディアの活用による印刷物の削減					
産業廃棄物の削減					
・作業ミスによる廃棄量の削減					
・素材別ボックスの設置					
・リサイクル業者の開拓					
・分別の徹底					
・再資源化先の開拓					
水道水の削減					
・食器等のため洗い					
・掃除のとき湯水や洗剤を使いすぎない					
・捨て水を有効活用する					
・節水シールの貼付けとポスター掲示					
・ストッパー付きホースリールの使用					

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
環境基本法	事業活動に伴う公害を防止し、自然環境の保全措置を講ずる
地球温暖化地策の推進に関する法律	温室効果ガスの排出抑制
環境配慮事業促進法	事業者は事業活動に係る環境情報の提供に努める
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェストの交付と5年間の保存義務
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（産業廃棄物）	積上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生の防止、保管場所の掲示
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（一般廃棄物）	可燃ゴミ、不燃ゴミ、缶、ペットボトル、プラスチック等分別排出
建設リサイクル法	分別解体、再資源化の促進
資源の有効な利用の促進に関する法律	再生資源利用計画の作成（建設副産物）
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器の適正処分
ダイオキシン類対策特別措置法	14日前までに都道府県知事に計画書を届出、完了後の報告
労働安全衛生法	工事開始14日前までに所轄労働基準監督署に届出
廃PCB処理法	適正処分
フロン排出抑制法	解体前の設置有無確認（エアコン等）、使用するエアコンの簡易点検
大気汚染防止法	石綿除去工事（事前調査、特別粉塵排出等作業実施届書）
オフロード法	排ガス対策型建設機械
浄化槽法	定期点検、浄化槽の処理後でなければ公共用水域に排水禁止
下水道法	排水量50トン/日以上、排水基準
騒音規制法	バックホー、トラクターショベル、ブルドーザー等
振動規制法	鋼球を使用しての破壊作業、ブレイカー等
阿南市環境基本条例	公害対策及び産業廃棄物の適正処理等、生活排水による水質汚濁対策
その他市町村の環境基本条例	規制基準の遵守
徳島県環境基本条例	規制基準の遵守

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって、関係当局より違反等の指摘もありませんでした。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 森本 則明 実施日：令和8年1月15日

2025年は、建設業法改正の対応や止まらない資材価格高騰など、荒波の1年となりました。また、労務費の見直し等による厳しい予算と工期の条件の中で全社員の知恵と経験で、工事を完了させてくれました。今後は、再利用資材・プレキャスト製品・電動建機の導入といった環境負荷が低く、かつコスト高騰リスクの少ない建材の提案を積極的に行い、技術力と生産性を高め、人材・価格・環境の現実的な視点と前向きな取り組みを実施していきましょう。熟練社員の技術継承と、環境経営への対応を両立できる企業こそが、持続可能な成長を遂げられると確信しています。

環境経営方針 変更なし 変更あり
環境経営目標・計画 変更なし 変更あり
実施体制 変更なし 変更あり

■これまでの環境活動の紹介



小さな森プロジェクト
M社 令和7年8月 撮影
(令和2年5月 植樹)



小さな森プロジェクト
SH 令和7年9月 撮影
(平成29年7月 植樹)

2030年までに、持続可能な開発のために欠かせない山地の生態系の能力を強めるため、多様な生物が生きられる山地の生態系を確実に守る。

知ってほしいこと、私たちが実行できること

毎年470万ヘクタールの森林が消えている

目標：自然に優しいイノベーションを

実行：生活の工夫や環境によい

商品選び裏紙等の再利用
で使い捨てをできるだけ減らし、小さな森プロジェクトを続ける

15 陸の豊かさも
守ろう

